



2020年5月13日

各位

会社名 アルー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 落合文四郎
 (コード番号: 7043 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 執行役員 稲村大悟
 コーポレート部長
 (TEL. 03-6268-9791)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月13日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年2月13日に公表した2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の業績予想及び配当予想を修正し、売上高をレンジ形式での開示とし、利益額の予想及び配当予想については未定とすることといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,650	百万円 145	百万円 135	百万円 100	円 銭 39.72
今回修正予想(B)	2,000 ～1,700	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	△650 ～△950	—	—	—	—
増減率(%)	△24.5 ～△35.8	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2019年12月期)	2,509	165	160	115	45.68

2. 修正の理由

新型コロナウイルスに関連する感染症の世界的な拡大による影響は、各国の情勢に様々な影響を及ぼしており、当社グループにおきましても、集合形式での教室型研修の実施見合わせ、海外派遣型研修の渡航取り止めなどによる販売への影響や、海外子会社における、渡航や外出の制限の措置等による事業運営への影響を受けております。

最終的な影響額は現在精査中ではありますが、新型コロナウイルスに関連する感染症の拡大による受注済み案件への影響は現時点で358百万円に上っております。外出の自粛要請や渡航の制限等が長引いた場合、現在受注済み案件のキャンセルが増加する恐れがあり、今後の売上額に与える影響が拡大する事が見込まれます。この他、外出の自粛要請が解かれ、企業活動の再開がなされた場合にも、顧客企業の教育研修に対する投資意欲の回復が順調に進まない場合、案件の受注が積みあがらず影響がさらに拡大する可能性があります。

一方で、リモートワークの増加に伴いオンラインでの研修や人材育成に注目が集まっており、eラーニングシステム「etudes」をはじめとした当社が提供するeラーニングへの引き合いも拡大しております。

また、今後の人材育成の形としてリモートでの学習機会も増加することが予想される中で、当社グループのグローバル関連の構造を見直し、需要に見合ったコスト構造を実現する試みや、個人向けALUGOのマーケティングを休止し、赤字幅を縮小する試みにも取り組む事を検討中ですが、新型コロナウイルスに関連する感染症の拡大が世界経済に対し影響を及ぼしている中で、海外子会社を含む当社グループの事業活動に係る費用の合理的な見積りを行う事が現時点では困難であると認識しております。

そのため、新型コロナウイルスに関連する感染症の拡大規模や収束時期が見通せない状況下では合理的な業績予想の算定が困難であり、2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、連結売上高については、レンジ形式での開示とさせていただき、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益並びに1株当たり当期純利益につきましては、一旦未定とさせていただきます。

なお、現在未定としております業績予想に関しましては、今後の動向を注視し、算定および公表が可能となった段階で改めて公表いたします。

3. 当期の配当予想修正の内容(2020年1月1日～2020年12月31日)

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想	0.00	7.00	7.00
今 回 修 正 予 想	未定	未定	未定
当 期 実 績	—	—	—
前 期 実 績 (2019年12月期)	0.00	7.00	7.00

4. 修正の理由

業績予想の修正の理由に記載しております通り、新型コロナウイルスに関連する感染症の拡大規模や収束時期が見通せない状況下では合理的な業績予想の算定が困難であり、現時点において、当社の財政状態に与える影響を合理的に算定する事は困難なため、配当予想につきましては、一旦未定とさせていただきます。

なお、現在未定としております配当予想に関しましては、今後の動向を注視し、算定および公表が可能となった段階で改めて公表いたします。

以 上